

19万人のひろば

おめでとうございます (敬称略)

危険業務従事者叙勲

【瑞宝双光章】▶警察功勞 鳥畑靖彦 (桑橋) ▶村松豊二 (大和田新田)

【瑞宝単光章】▶警察功勞 内藤貞二 (大和田新田)

ホストファミリーになりませんか コミュニティワールドカップin八千代



▲昨年来日した韓国チーム

12月に開催される第23回コミュニティワールドカップサッカー in 八千代。国内外の中学生チームが八千代市に集まり、熱い戦いを繰り広げる市内最大のサッカーイベントです。

今年は海外チームとして、大韓民国仁川広域市萬壽中学校から20人の選手が参加します。

現在、大会期間中、ホームステイの受け入れをしてくれるホストファミリーを募集しています。二人一組での受け入れをお願いします。

ホストファミリーへの依頼内容は、①大会会場への選手の送迎 ②朝晩の食事の用意 ③ユニホーム等の洗濯です。引き受けてくれる人、興味のある人は、文化・スポーツ課 ☎481-0305へご連絡ください。



リサイクル・ガイド 消費生活センター ☎485-0559

●この欄については消費生活センターへ。受け付けは、土曜・日曜日、祝日を除く午前8時30分から午後5時まで (午後4時～5時は ☎483-1151へ)

【あげます】▶子ども学習機 (低学年用、10年ほど前のもので傷あり) ▶毛布 ▶羽毛かけ布団 ▶ホットプレート (3～4年前購入、新品同様) ▶サーフィン

国民体育大会「スポーツ祭東京2013」ライフル射撃で優勝 金坂広幸さん (54歳)



▲自身6度目の国体優勝を果たした金坂さん

10月6日に行われた国民体育大会「スポーツ祭東京2013」のライフル射撃競技で金坂広幸さんがみごと優勝を果たしました。出場したのは成年男子50メートル膝射の部。この種目は片膝を立てて銃を構え、50メートル先の標的に20発打ち、合計得点を競います。的の中心の10点は、直径わずか10.4ミリメートル。高い集中力と精神力が要求されるなか、金坂さんは15発の10点を撃ち、195点を獲得しました。これまでに24回国体に出場している金坂さん。前回の岐阜国体で初めて入賞を逃したことから、“なんと

しても入賞を”という思いで今回の国体に臨みまし。た。「プレッシャーをうまく力に変えて撃つことができ、チームの入賞に役立ててほっとしました」と大会を振り返ります。

ライフル競技を始めたきっかけは、高校生のときにピストルの国体選手だった父に射撃場に連れて行かれ、競技射撃に興味を持ったそうです。競技人口が少ないため、日本全国の選手と友達になれることも魅力。「射撃はとても安全で年を重ねても続けられる生涯スポーツ。まだまだ現役選手として挑戦していきますが、すばらしさや楽しさをたくさんの人に伝えていきたい」と競技の普及にも意気込みをみせていました。

今回の国体では女子柔道の部でも八千代市出身の大学生、角田夏実さんが活躍。団体戦で千葉県チーム優勝の原動力となりました。

日頃の成果を披露

市内9館で公民館まつりを開催

10月12日、勝田台公民館まつりが、勝田台文化センターで行われました。演技発表のこの日は、人形劇やコーラス、ギターアンサンブルなど公民館のサークル活動で練習を重ねた12団体が日頃の成果を披露しました。公民館まつりは、市内全公民館で開催。昨年に引き続き行われた、災害時に役立つアルミブランケットなどの景品が当たるスタンプラリーにも多くの参加がありました。



▲童謡唱歌をうたう会は「しゃぼん玉」など8曲を熱唱

犯罪から身を守れ

女性の犯罪被害防止キャンペーンを開催

痴漢やひったくりなど、女性や高齢者を狙った犯罪が後を絶ちません。危険を感じたとき、身を守り無事に逃げ出せるよう「女性の犯罪被害防止キャンペーン」が10月17日、イオンモール八千代緑が丘で行われました。

千葉県警察本部で逮捕術などを教える高橋博副主席師範が講師を務め、「何よりも危険な場所に一人で近づかないことが第一」とアドバイス。その上で万が一不審人物が近づいてきた場合や、腕をつかまれた場合に備え、力のない女性や高齢者でも簡単に振りほどく方法などを紹介しました。「相手をひるませた隙に素早く逃げるのが目的です。決して力で対抗しようとししないでください」と高橋さん。買い物客や従業員などが参加し、見よう見まねで腕を動かしたり足運びをまねてみたりしました。



▲警備員と女性従業員が見本となり、腕をつかまれた場合の対処法を実践しました

八千代歌壇

八千代市短歌会選

「トリック・オア・トリート」。10月31日のハロウィンの日には、子どもたちの元気な声が市役所の中にも聞こえてきました。いつ頃から日本に入ってきたのか、私が子どもの頃にはまだなかったように思います。諸説ありますが、もともとはヨーロッパのケルト民族が行っていた秋の収穫祭や、死者を迎えるための行事だったとか。提灯(ランタン)に火を灯し、死者の霊を導いたり、悪霊を追い払ったりするのは、どこか日本のお盆の風景とも似ている気がします。今では大人も子どもも楽しめるイベントとして定着してきたハロウィン。私もいつの日か子どもと一緒に仮装をして参加してみたいと思います。

村人の忘れ果てたる忠魂碑地に曼珠沙華みちみちと咲く (八千代台南) 桑原 慎子

荒川の土手の道行く自転車のミラーにあの日の青空映す (八千代台西) 百瀬水枝子

かつてなき日照りに枯れし里芋の葉が立ち上がるひと雨す (村 上) 網島みち子

子ら去りて音しずまりし公園の暮れゆく木々に草ひばり鳴 (大和田新田) 諏訪 俊一

酷暑過ぎマリーゴールドに蜚蝶風涼やかに低く飛び回る (大和田新田) 児玉 将孝

柘榴坂戦火くぐりし一本の柘榴はさけてぱっくり赤し (下市場) 村越喜美子

庭すみのシユウカイドウは花ざかりハート型の葉にケークキ (ゆりのき台) 池内きよ子

ののせる (八千代台北) 若菜 欽子

選評 一首目、忠魂とは忠義のために、命を捨てた人のたま (八千代台北) 若菜 欽子

しいという。日本の国のために戦って逝った若い人達を人々は忘れ果て、曼珠沙華だけが忘れない、忘れないと咲き続けていく。それを見つめる作者の切なさが心に沁みる。二首目、久し振りに荒川の土手の道を行ってバックミラーに映った青空があの日と同じに思えて優しく切ない気持ちになった。若き日は切なく懐かしい。三首目、下の句のうまさ。農にかかわっている人だからこそその想いやりと優しさに溢れている。

やちよ川柳

八千代川柳連盟選

不渡りの愛で独身謳歌する 大和田新田 斉藤キミ子
長い尾がついた噂が世を渡る 大和田新田 風戸万里子
枯れかけた脳に読書の潤滑油 八千代台北 新木さち子
不在でも明かりは付けて行く使い 村上団地 安部ちえこ
踊りの輪視線はたえず彼女追う 勝 田 植田 絵里
飽食にダイエットにもかける金 萱 田 今井 ちる
後輩が上司になって下す指示 上 高 野 廣田 高見
秋服へ夜なべミシンの軽やかさ 萱 田 鈴木みち子